

犯罪のない安全・安心まちづくり情報誌

Vol.

24

平成21年3月発行

# くらし 安全通信

神奈川県 安全防災局  
安全・安心まちづくり推進課

電話 045(210)1111

(内線3507・3515)

FAX 045(210)8953



ホームページ  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/anzenansin/anzennindex.htm>

神奈川あいさつ一新運動  
地域の安全・安心はあいさつから

平成20年度

## 安全・安心まちづくり功労者表彰・奨励賞の受賞者が決まりました!



(受賞者の皆さんと松沢知事)

平成21年2月10日(火)、横浜市社会福祉センターホールにて開催した安全・安心まちづくり県民大会において、平成20年度安全・安心まちづくり功労者表彰・奨励賞の表彰式を行いました。

### <功労者表彰受賞者>

長年にわたり、犯罪のない安全・安心まちづくり活動に尽力され特に顕著な功績をあげられた方々を表彰するものです。

- 岡田 忠男さん (横浜市栄区)
- 白垣 一久さん (藤沢市)
- 藤平 保之さん (横浜市中区)
- 若井 成子さん (秦野市)
- イーピア葉山自治会 (葉山町)



(大会宣言の様子)

### <奨励賞受賞者>

犯罪のない安全・安心まちづくりモデルとなるような活動を地域で活発に実践されている方々を表彰するものです。

- 金子 虎之助さん (平塚市)
- 田邊 精一さん (横浜市港北区)
- 石神台ガーディアン (大磯町)
- 岩原暫金時隊 (南足柄市)
- 本郷台自治会 (横浜市栄区)



防犯落語(三遊亭遊吉師匠)

県民大会では、約300名の参加者全員で大会宣言を読み上げ、拍手をもって宣言内容にご賛同いただきました。(大会宣言の内容は県ホームページでご覧になれます)

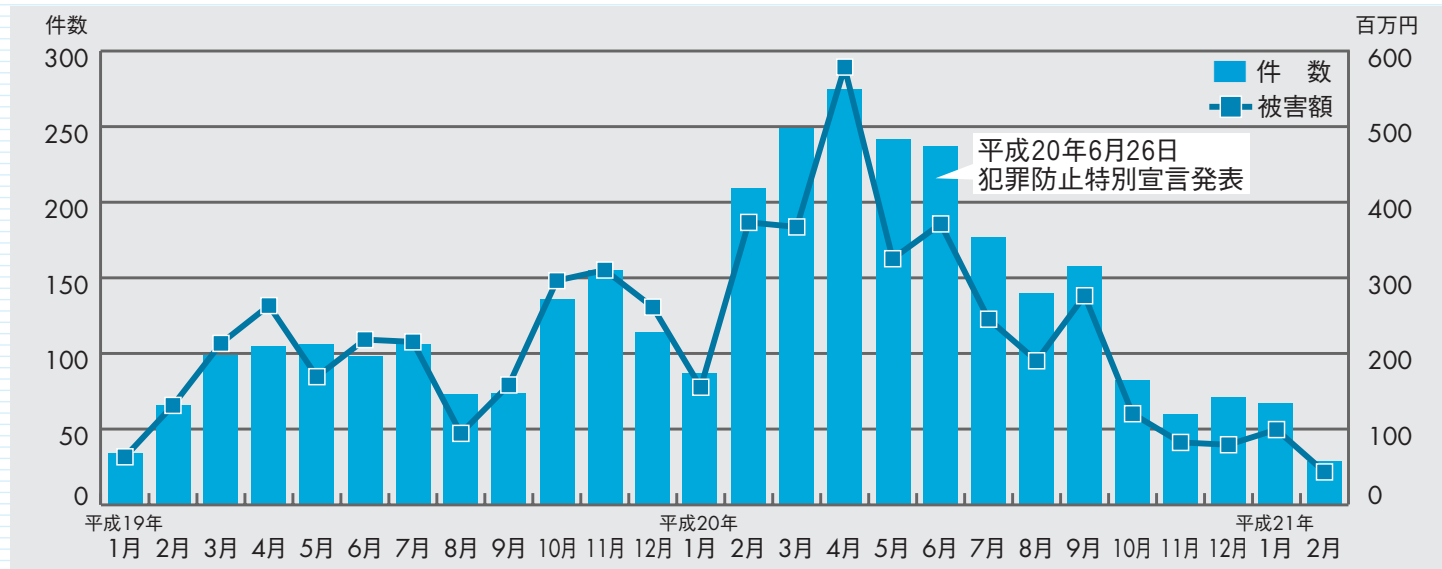
後半では、三遊亭遊吉師匠らによる落語をお楽しみいただき、会場は笑顔に包まれました。

# 振り込め詐欺の根絶に向けて

振り込め詐欺被害の急増を受け、平成20年6月26日、県は「振り込め詐欺」犯罪防止特別宣言を出しました。県、県警察、関係機関が連携し、積極的に被害防止対策に取り組んできた結果、ピーク時に比べて被害は減少傾向にあります。より巧妙な手口も広がっています。

平成20年中  
の被害額  
約**31億円!**

## 振り込め詐欺被害の月別状況(平成19年1月～平成21年2月)



### 振り込め詐欺の最近の手口をご存知ですか あわてずに冷静な対応を!

#### キャッシュカードを取りにくるもの

警察官や金融機関の関係者を名乗り、「あなたの名義のカードが発見された」「カードを預かりに行くので事前に暗証番号を教えてください」などと電話を入れた後で被害者宅を訪れ、キャッシュカードをだまし取って現金を引き出す。

#### 現金を直接取りに来るもの

代わりの者に現金を取りに行かせるという現金の受け渡し場所を指定して、現金を持ってくるよう指示する。

バイク便の業者を自宅に行かせ、現金を運ばせる。

#### 送金方法にエクスパック500を指定するもの

現金を振り込ませるのではなく、エクスパック500(郵便局の専用封筒)を使って現金を送金させる。(エクスパック500による現金の送金は禁止されています。)

### 定額給付金の給付をかたった詐欺にご注意を!

国が市町村を通じて給付を行う定額給付金について、給付手続きに必要であると偽り、現金をだまし取ろうとしたり、個人情報などを不正に入手しようとする事件が心配されます。

定額給付金の支給において、市町村がATMに行くよう指示をしたり、キャッシュカードを預かったりすることはありません。

### 知事からの3つのお願い

- ① 子や孫へのなりすましを見破るため、家族だけの「合い言葉」を決めましょう
- ② 「電話番号が変わった」と知らせてきたら、以前の番号に、必ず連絡しましょう
- ③ 電話で「お金」の話が出たら振り込め詐欺だと疑いましょう



携帯電話の番号が変わったという電話は詐欺!

振り込まないで!

振り込め詐欺  
気をつけて!

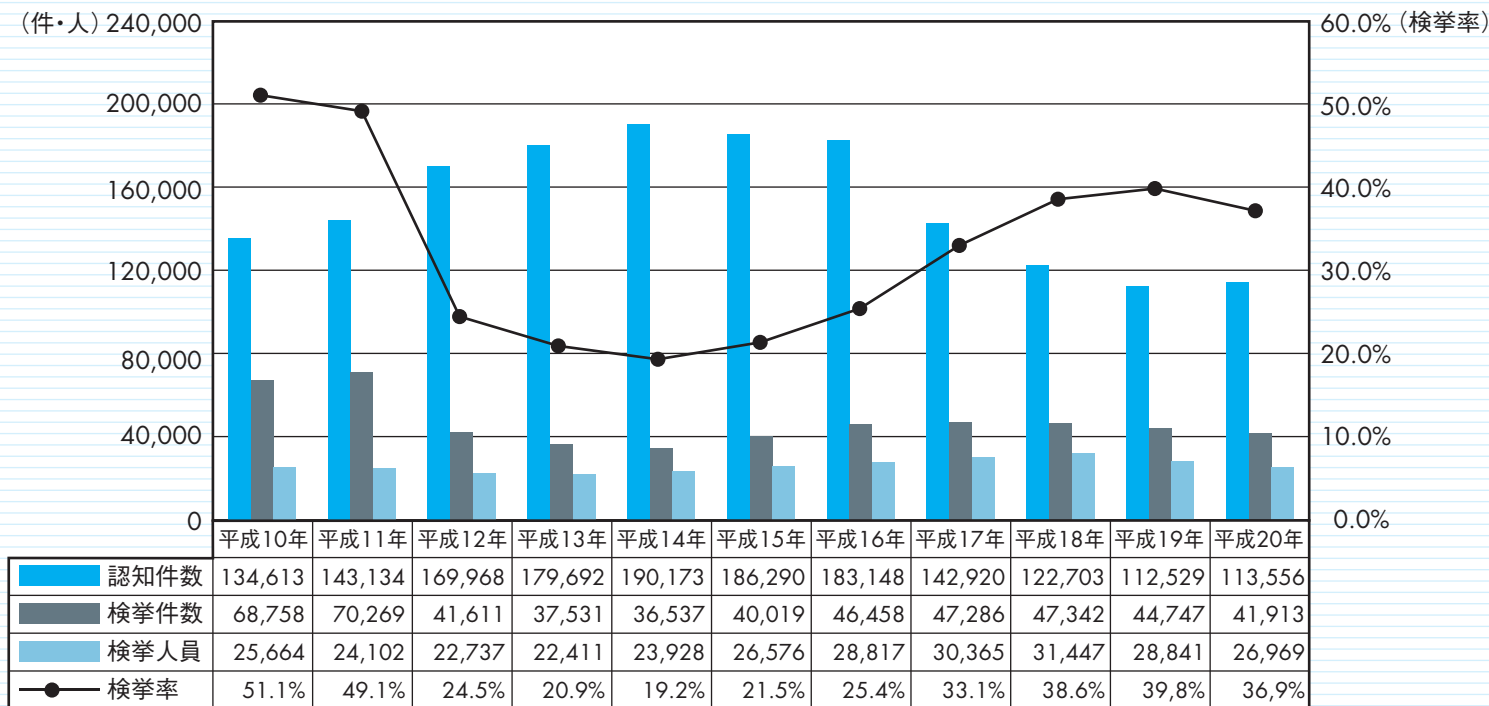
## 振り込まないで!

現在、横浜スタジアムのオーロラビジョン(電光掲示板)において、横綱白鵬関をモデルとした注意喚起映像を放映しています。オープン戦からクライマックスシリーズ終了までの期間、試合前と19時以降に実施します。

横綱白鵬関が  
横浜スタジアムの  
オーロラビジョンから  
呼びかけます

# 神奈川県内における 刑法犯認知件数等の推移

平成20年の刑法犯認知件数(届出等により県警察が認知した件数)は、振り込め詐欺の激増等を受け、前年に比べて0.9%の微増となりましたが、ピーク時の平成14年に比べると約4割減少しています



## 県による犯罪被害者等支援施策・事業(案)について

県では、犯罪被害者等の方々への支援施策の充実に向けて、総合相談窓口の設置など取り組んでまいりましたが、更なる充実を図るため、平成21年度から次の支援施策・事業を実施する予定です。その中から、主なものを紹介します。

### 犯罪被害者等総合サポートセンター(仮称) の設置・運営

県、警察、民間支援団体が一体となって、総合的支援をきめ細かく提供していきます。

場所 かながわ県民センター14階  
(横浜駅西口徒歩5分)

平成21年6月  
開設予定

### 日常生活回復に向けたきめ細かい支援

- 生活資金貸付の実施
- 緊急避難場所(ホテル等)の提供
- 弁護士による法律相談の実施
- 臨床心理士等によるカウンセリングの実施
- 支援ボランティア登録制度の実施
- 直接・生活支援の提供(裁判所への付添いや家事支援等)

## 事故給付金制度 継続登録のお願い

自主防犯活動に取り組むボランティアの皆さんが、その活動中の事故により負傷した場合などに給付金を支給する制度です。ご利用いただくためには、あらかじめ県に登録をしていただく必要があります。以降年度ごとに継続登録の申請をお願いしています。

### 申請の流れ

平成21年3月

既登録団体の皆さんへ  
県から継続登録申請書の  
様式を送付

5月末締め切り

団体の代表者や連絡先等の  
修正内容を朱書き訂正の上、  
継続登録申請書を県に返送

手続き完了

平成22年3月31日まで  
登録は有効



**ご 注 意** 平成21年6月1日以降に継続登録申請をした場合は、申請日以降の事故が給付の対象となります。

**申請書の提出先** 横浜市内:県安全・安心まちづくり推進課 川崎市内:県安全・安心まちづくり推進課川崎分室  
横浜市・川崎市以外の地域:各地域県政総合センター県民・安全防災課

**問い合わせ先** 県安全・安心まちづくり推進課 (TEL.045-210-3515)

# 受け継がれる安全・安心のこころ ～横浜市立上菅田小学校の地域安全マップづくり～



横浜市立上菅田小学校では、毎年5年生の授業として「地域安全マップ」を取り入れています。担当である坪井先生は、教育委員会の研修で「地域安全マップ」を知って強く興味を持ち、小学校の授業に取り入れようと、私たち横浜地区担当のくらし安全指導員に声をかけてくださいました。平成18年から3年越しのお付き合いになる坪井先生にお話を伺いました。

## ○どうして「地域安全マップ」を5年生の授業として取り入れようと思ったのですか？

「5年生は、学校でも高学年としての立場となり、子どもたちもその自覚が芽生えてくる時期です。また、大人の感覚にかなり近づいてくることもあり、難しい話にも耳を傾けることができます。世の中の事故や事件なども理解し、自分のことと捉えないまでも雰囲気は感じ取っているようです。今回の活動を通して、安全・危険とはどんなものか、どういうことが大切なのかを具体的に教えらることは本当に価値のあることだと思っています。」



## ○工夫している点は、どんなところですか？

「小学校でこの活動を取り入れるにあたって困難だったのは時間の確保と職員への学習内容の伝達です。たくさんの行事の中、どのようにこの活動を位置づけるかは悩むところでしたし、「地域安全マップ」自体を知らない職員が、この活動を計画できるかどうか、また、そうなった場合にかかなりの負担になってしまうのではないかということがありました。時間がかかりすぎたり、職員の負担になったりすることはまず続きません。毎年継続できる活動にするため、だれでもわかりやすく、簡単に計画・実行でき、場合によっては、短い時間でも完成させられるよう様々なことをパターン化しました。まずは、この活動が毎年続いていくことが大切だと思っています。」



## 子どもたちの声より

- 危険な場所や安全な場所がわかってよかったです。危険な場所にはあまり行かないようにしたいです。
- 自分の家の周りにも危ない場所があることに気がつくことができました。
- いつも気づかない危ないところを発見できました。そこを通らないで安心して出かけられるようになりました。
- 木を切って見通しをよくしたり、「こども110番の家」になってくれたりして、地域の人たちが自分たちのためにいろいろ気を遣ってくれていることがわかりました。

上菅田小学校の地域安全マップづくりでは、マップを作成した5年生が4年生を対象にして発表会を行っています。次年度はその4年生が同じエリア(全6エリア)を自分たちの目で確認し、マップを作成する。そのようにして毎年上菅田小学校生に引き継がれていきます。

# 地域活動情報